

花きの県別生産出荷概況(4月見通し)

令和2年3月31日現在

出典:花き流通情報連絡協議会資料

品目	県名	作型	主要品種	出荷期	作付面積 ha	出荷見込み		5月のピーク(%)			主産地	作柄及び概況
				期間		出荷総数 千本	京浜地域向 千本	上旬	中旬	下旬		
				(ピーク)	(前年比)	(前年比)	(前年比)					
バラ	群馬	施設 (周年)	アヴァランチェ サムライ08 ほか	周年 (5~11月)	12.2 (100%)	870 (100%)	645 (100%)	33	33	33	前橋市 富岡市	生育は順調。一部でステムがやや細いものなど見られたが、日射量の増加と積極的な炭酸ガスの施用により改善されている。4月は平年並の出荷を見込む。
アル リス アト ロメ	長野	周年	ピンクティアラ ハニーソフィア ホイトニー ピンクサプライズ	周年 (4月)	25 (101%)	2,300 (108%)	920 (101%)	45	30	25	上伊那 諏訪 松本 諏訪	前進傾向で推移してきたため、4月のピークも上旬寄りの予想。下旬からは改植作業も始まる。

花きの県別生産出荷概況(4月見通し)

令和2年3月31日現在
出典：花き流通情報連絡協議会資料

品目		販売における現状と今後の見通し	
バラ	現状	婚礼、宴会、謝恩会などが軒並み延期、又は中止となり、特に上旬の引き合いは今までにない程厳しい状況となった。自粛ムードがなくなると相場の回復は厳しいと思われる。国内の入荷は中旬以降増加(大田)。STD/SP両方ともに入荷数量少なめ。3月需要ほとんどなくなり厳しい販売(FAJ)。コロナウィルスの影響により、上旬の相場は厳しくなったが、中旬になり、やや回復。輸入は出荷調整により、3割減(世田谷)。コロナウィルスの感染拡大防止の影響により2月後半から卒業式や宴会等のイベントの中止延期で注文のキャンセルが相次ぎ需要がなくなったため動きは鈍く、単価が例年に比べ@30~60くらい安い販売となっている(東日本板橋花き)。	
	見通し	大田花き	国内の入荷量は増加傾向だが、輸入品はコロナウィルスの影響次第で決まる。
		FAJ	新年度需要見込めず、前半は厳しい展開も予想。出荷数量は天候と景気次第。
		第一花き	前進傾向の生産者もいれば遅れた生産者もいるため、中々入荷量が落ち着かない、高冷地物も雪がなく早めの出荷体制となる。
		世田谷花き	入荷量は昨年並みの見込み。単価は厳しい見込み。高冷地も暖冬の影響で、出荷早まる見込み。
		東日本板橋花き	コロナウィルスの一連の問題が終息しなければ業務やイベント需要が戻ってこないため見通しは不透明な部分が多い。
		東京フラワーポート	
アルストロメリア	現状	数量は横這いで、各産地より潤沢な入荷が続いた。葬儀は少量で、彼岸に向けて、下位等級の引き合いが強まった(大田)。長野・山形より入荷。順調な出荷が続き相場も厳しい状況から彼岸需要期から回復(FAJ)。愛知中心の入荷。昨年並みの入荷量。業務中心の動き(世田谷)。愛知中心の入荷。昨年より多い入荷。業務中心の動き(東日本板橋花き)。	
	見通し	大田花き	各産地、安定した出荷が続く。暖地から改植が進んでいき、5月に向けてやや数量落ち着いていく。
		FAJ	引き続き長野と山形主体の入荷。潤沢な数量が出荷される見込み。
		第一花き	西南暖地から高冷地まで潤沢な出荷であり輸入品ある品種数も多くなりそれなりの販売には期待あり。
		世田谷花き	例年よりやや減少。相場落ち着く。
		東日本板橋花き	愛知中心の入荷。昨年並みの出荷量。天候次第で入荷の増減あり。
		東京フラワーポート	